

協働パイロット事業（H27）企画提案書

団体名：特定非営利活動法人医療・福祉実務者団体

1 事業の名称

静岡市民の老後を支えるコンパスをうみだそう！

2 事業の概要（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください）

(1) 社会的課題の発見

10年後には現在の約1.5倍、全国で700万人を突破すると予測（厚生労働省調べ）されている認知症患者の増加はどの市町においても深刻な課題として挙がっており、医療・福祉分野の専門家を中心に対策が進められている。しかし、「やがてわが身に迫ること」と感じるのは後期高齢者になってからという様子がみられ、一人ひとりの市民には重大なこととしての認識が薄い

(2) 社会的課題の解決方法

認知症の症状を軽減させる薬の開発、進行を遅らせるふれあい（対人援助手法）等、認知症対策には様々あるなかで、当団体では市民が認知症を自らのことと捉えることをねらいとして『センター方式を学習することで認知症の理解を進める』ことに取り組みたい

(3) 協働の効果

●行政のメリット

認知症患者が地域の人に支えられる期間が延長されると、介護保険の利用期間またはボリュームが減る

●団体のメリット

NPO法人としてスタートしたばかりのため、技術を活かせる場があることで存在を広く知らせることができる

(4) 市民生活の向上

センター方式を会得できると…

① アセスメントがおこなえるようになる（自分のこと、家族のこと）



② 家庭内だけでなく、社会生活のなかで認知症患者への係わりがスムーズになる



③ 認知症の人とともに暮らす街づくりへの基盤となる

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

(1) 役割分担

●行政の役割

取り組む事業の広報（宣伝）

●団体の役割

取り組む事業の人材配置

取り組む事業の品質管理

(2) 団体が主におこなうこと

- ・ 講座案内（チラシ）、テキストの作成
- ・（今回はモデル事業として1ヶ所のみおこなう）開催の区の選定
- ・ 区内の地域包括支援センター、児童・民生委員、地区社協等へ企画書を持ち込み、事業を紹介する（中心を地域に置けるよう努める）
- ・ 開催会場と日程決め、当該地域への広報をおこなう
- ・ 講師2名の派遣

(3) 行政が主におこなうこと

- ・ 市全体への広報（記者クラブ、市の広報誌への掲載等）

4 事業計画・実施スケジュール

月	内容
7月	(1) 契約締結
	(2) 担当者に詳細な運営書を提出し、打ち合わせをおこなう
	(3) 取組み内容及び広報情報を整理する
8月	(4) 地域包括支援センター等と連携への準備を進める
	(5) 開催会場と日程を決める
9月	(6) 当該地域への広報
10月	(7) 「よりよく暮らしていく支援を実践するために」教室を開催 第1部 センター方式がめざしているものはなにか
11月	(8) 「よりよく暮らしていく支援を実践するために」教室を開催 第2部 支援のポイントを体験のなかからみつけよう
12月	(9) 完了に伴い、報告書を作成する

団体名：特定非営利活動法人医療・福祉実務者団体

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

	担当業務	氏名	団体会員	備考
1	統括&講師	原崎小百合	事務局	ビジネス講師やカウンセラー、評価業務を20年余おこなってきた。福祉レクワーカー、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、社会福祉主事、ISO9000審査員補等の資格をもつ。 ※地域密着型サービス 評価調査員
2	講師	澤部栄	会 員 (市外在住者)	特別養護老人ホームの生活相談員を15年務め、平成25年退任後、福祉事業所の教育や評価に従事している。幼稚園教諭、保育士、社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員等の資格を有する。 ※地域密着型サービス 評価調査員
3	講師	浅井友里江	会 員 (市外在住者)	サービス業から福祉業界へ転身を果たし、培ったCS精神を地域におけるレクリエーション普及に生かしている。介護福祉士、介護支援専門員。 ※地域密着型サービス 評価調査員
4	講師	小澤満雄	会 員	建設業界に長く勤務した後、地域密着型施設の経営者となり、日々認知症の利用者に関わっている。介護福祉士、介護支援専門員。 ※地域密着型サービス 管理者

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

「専門性の高さ」… 一定の品質で提供できる

メンバーの大半が介護支援専門員、地域密着型密着型サービス評価調査員としての経験をもつ

「独自性」… 1度で終わらず、2回おこなうことで間の期間に宿題をだしてより自分のものとしてできるように工夫している

「先駆性」… 一般市民におこなう講座として「認知症サポーター養成講座」があり、近年認知症への認識のすそ野は広がっている。当講座でアセスメントにまで踏み込むことでさらに深耕が期待される

「実績」… 本講座を団体としておこなったことはないが、法人設立の平成26年10月～においては市民を対象とした講座を2回受託実施している

○熱海市子育てボランティア養成講座

○湯河原町子育てボランティア フォローアップ講座

また、他にもメンバーの一人である笑い療法士が「笑いのふえるレクリエーション」講座を実施している

協働パイロット事業 (H27) 見積書

団体名：特定非営利活動法人医療・福祉実務者団体

企画のタイトル：静岡市民の老後を支えるコンパスをうみだそう！

項目	金額	説明
講師 主担当1名 } × 2回 副担当1名 }	200,000 円	○打ち合わせ、準備2人×8日(内外部と2日) = 16 ¥5,000×16 = ¥80,000 ○当日講師 2人×2日 = 4 主 ¥30,000×2 = ¥60,000 副 ¥15,000×2 = ¥30,000 ○交通費 準備12+当日4 = 16 ¥1,000×16 = ¥16,000 ○事務費 ¥14,000
テキスト印刷代	4,500 円	通常テキストは1冊千円~として2回で2千円~だが、今回は印刷代のみで設定。1会場30名を予定し、1名あたり150円で、4500円。31名以上の場合は団体が負担する
会場費 (公民館を予定)	4,000 円	¥2,000×2 = ¥4,000
小計 A	208,500 円	
消費税 B = A×0.08	16,680 円	
合計 A+B	225,180 円	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途